

# 自由が丘パネルトーク フランス人と日本人-世界の中での国民性

参考資料 第4回 2018/11/20

シリーズの趣旨:

- 講演会との違いー参加者の討論
- 企画準備会でテーマと論点を決める
- フランスだけがテーマとは限らないが、日仏交流に関連するテーマ
- 開かれた日仏協会を目指すため、参加者は地元と公募者で構成

今までのテーマ(協会サイトに掲載)と今後予定事例

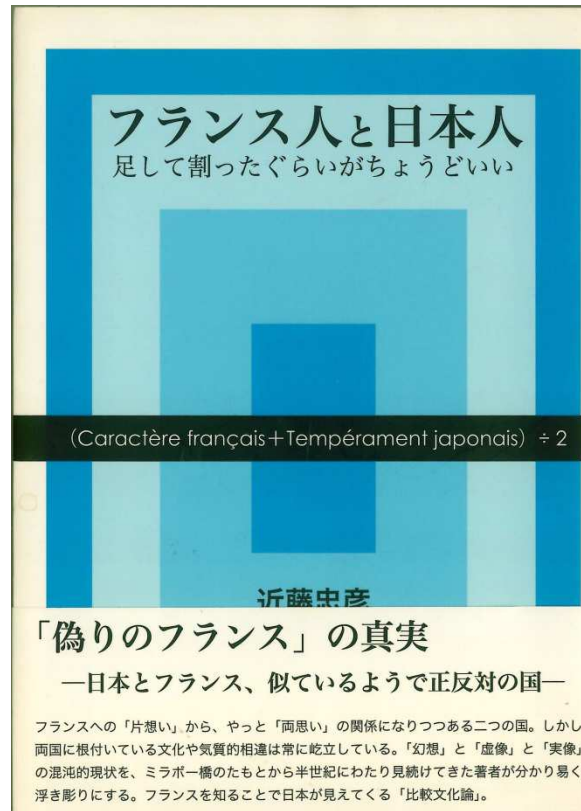
- 自由が丘・東京・パリの街並み (No.1/2016/12/6) -自由が丘日仏協会HP参照できます
- 国際交流・共生と自由が丘 (No.2/2017/4/6) -自由が丘日仏協会HP参照
- フランス・EUの社会経済と日本の比較 (No.3/2017/12/8) -自由が丘日仏協会HP参照
- その他 ◆ ●日仏国民性の比較論
- エッフェルと宇宙エレベータ
- オリンピック2020と自由が丘
- 自由が丘商業とフランス
- シャンソンとフランス人気質……
- フランス語圏のアフリカ

第4回 参考図解内容

- I : 今、なぜ国民文化か? 2-4
- II : 国民性・国民文化とは? 4
- III-1: 多様な世界 = 家族文化(E.トット"図解) 5
- 2: 国民文化(国際調査日仏) 6-8
- III-3: 多文化世界(ホフステット"図解) 9-10

## パネリストの著作と今回トークの論点

・近藤忠彦の視点／45年の在仏で得た説得力あるフランス人像

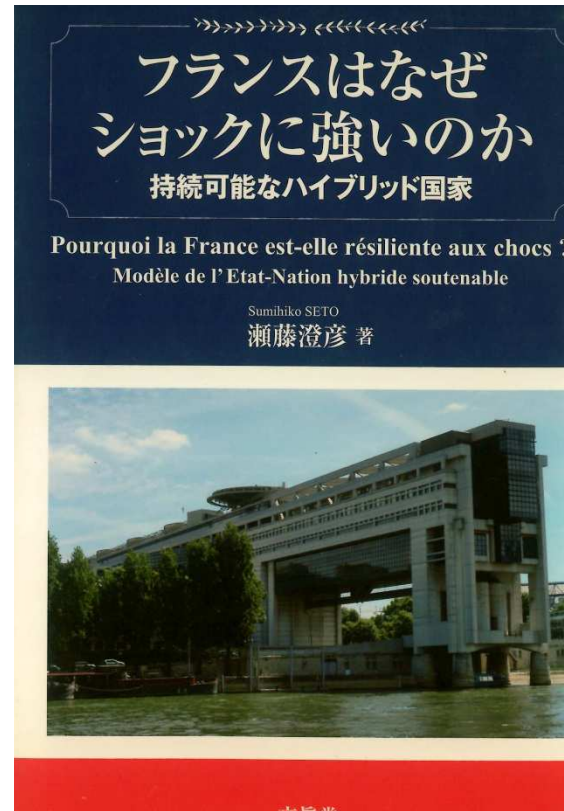


### 「偽りのフランス」の真実

—日本とフランス、似ているようで正反対の国—

フランスへの「片思い」から、やっと「両思い」の関係になりつつある二つの国。しかし両国に根付いている文化や気質の相違は常に屹立している。「幻想」と「虚像」と「実像」の混沌的現状を、ミラボー橋のたもとから半世紀にわたり見続けてきた著者が分かり易く浮き彫りにする。フランスを知ることによって日本が見えてくる「比較文化論」。

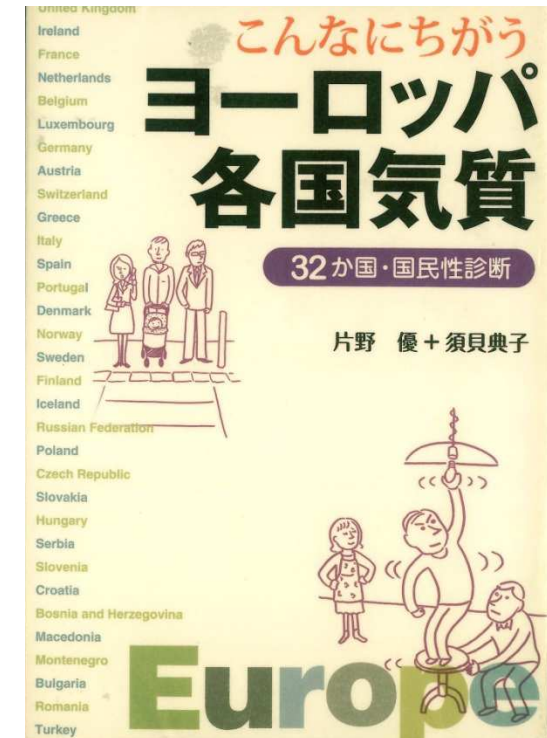
・瀬藤澄彦の研究／政治経済、社会・文化等多角的に見たフランス



・内需主導経済や人口政策・国土利用で、将来ドイツを超えるだろうという予測  
・フランスの出生率はなぜ高いのか  
・ライフスタイルを反映する個人消費構造  
・男女関係の変貌と複合家族の課題  
・博愛と自立の持続可能な社会・経済

## 参考例「ヨーロッパの中でのフランス」

・ヨーロッパ渡り歩きのジャーナリスの知見  
・国民の起源とエスニック・ジョークの宝庫



・寛容で豊かな愛と食の変人＝フランス  
・欧州の日本＝スエーデン(空気を読み控えめ)  
・皮肉屋でエスニックジョークの達人＝イギリス  
・日本びいきのフィンランド・ハンガリー  
・イタリアとスペインは似ているようで違う  
・北欧やバルカン諸国も多様な民族と国家



# Ⅰ. 今、なぜ国民性か？ → WarmingUp Tokyo2020



- ・2020東京五輪契機のインバウンドと国際交流増幅
- ・「2017海外から移住者40万人に急増」と将来日本
- ・世界の多様性の中で、フランスと日本の国民性を考え、面白くオリンピックを体験するためにも、整理してみましょう！

下記のパネリストと参加者のトーク会！

## 「文化は相対的！」の視点から、日仏国民文化の比較を取り上げる

### 第1部

#### ・会員/近藤忠彦氏の視点 メイン・パネリスト

(「フランス人と日本人…足して割ったくらいがよい」著者)

- フランス人が抱く日本の、日本人が持つフランスのイメージ
- 日常生活での相違、文化の違い…衣食住の話、豊富な遊び
- 有給休暇・学校休暇…フランス在住45年の体験

面白い！近藤氏著書-当日販売(事前でもお問合わせください)

#### ・会員/瀬藤澄彦氏の視点-パネリスト

(「フランスはなぜショックに強いのか」、「市民講座：異文化経営・国民性」著者)

- 国民文化の分析／個人か集団か、権力序列格差、男性女性対比、不確実性の認識…ホフステット理論等の国際比較

質問・図解／石川

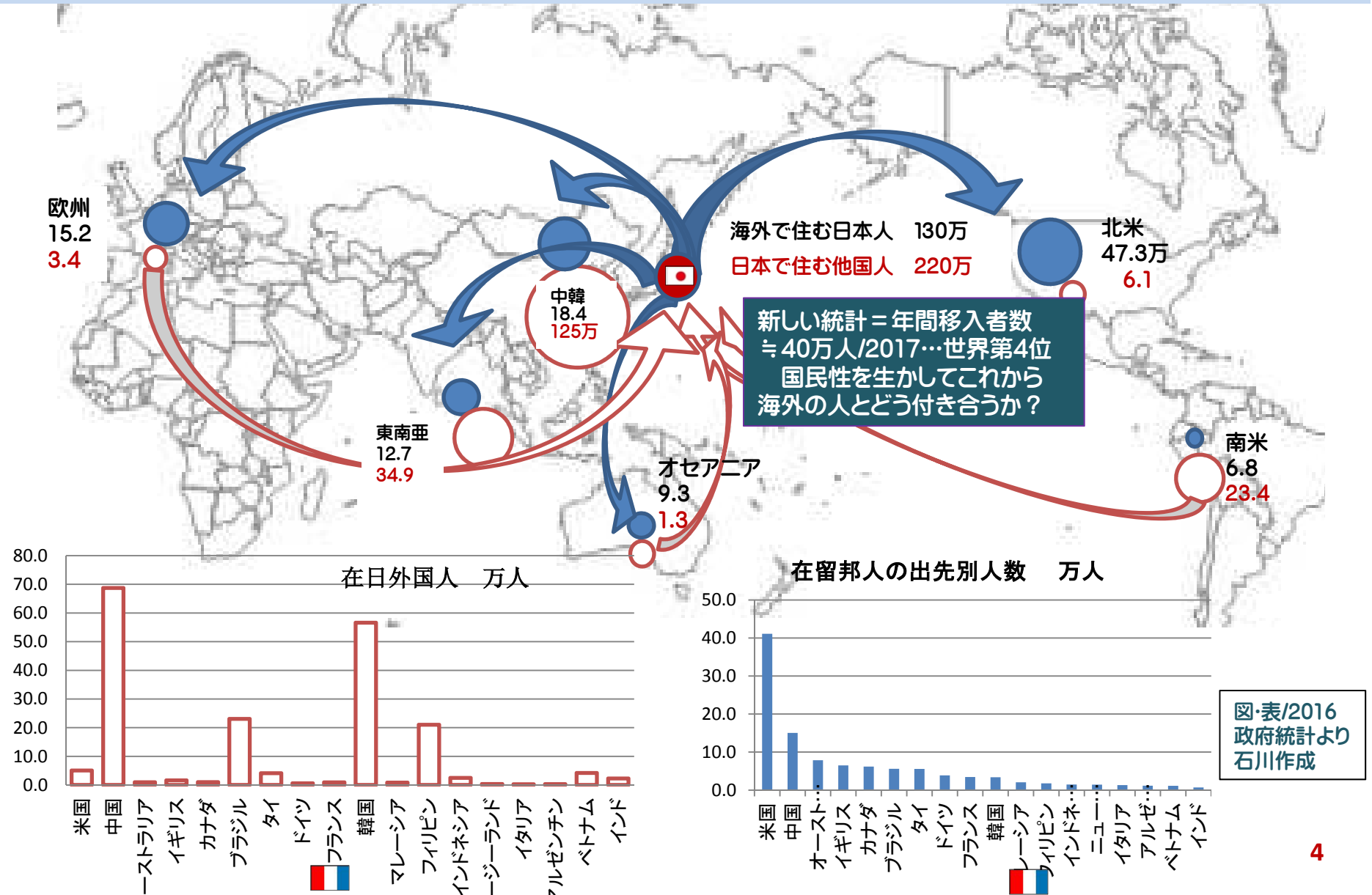
### 第2部：パネルトーク論点／会員、ゲストの視点とトーク

- ①参加者の見る国民性・体験・知見- 日仏他国--国民性ショックも (旅行・滞在経験者、海外知人・接客経験者)  
例：ステレオタイプだが面白い、意外な面、つきあい上の経験、国柄より個人で違う……
- ②テーマの自由が丘関連話題 - 自由が丘なりのサービス、ターゲット、環境・景観、交流… (商業者、住民、街づくり)
  - 観光客(何処から？何を売る？何を見せる？どう対応する？おおまかな各国気質・文化を知る。気にしない…)
  - 海外からの働く人、住む人(何処か？問題・対応、国際支援…)
  - 海外からの誘致・導入(テナント、商品)、そして海外に進出の時代？ 何を売る。名物。
- ③その他：例●フランスから見た日本人(仏人に指摘された経験も含め) ●進行中の移民政策に一言… (皆様)

# I a.今、何故、国民性か？ 海外の人と共生する時代

第2回自由が丘パネル・トーク 加筆

移住：日本で住む外国人(韓・中・ブラ・南米・・・)、海外で住む日本人(北米、中・欧・伯・ブラ・・・)



## II. 国民性 *Caractère National*, 国民文化 *Culture nationale* とは？

- ・性格や文化の違いは国民単位より、まずは個人差の方が大きいことを織り込んだ上で、各国の統計値で論じられる国民性もあります。調査なしの「思い込み」もあるので参考に。
- ・地域や国の文化比較は優劣でない。(現代ではこれを文化相対主義と呼ばれている)
- ・民族性だけでなく、社会制度を含んだ国民文化・地域文化の比較となる。

### ● 決めつけ・思い込みの国民性(エスニックジョーク)

1970年代フランスで聞いたもの(ヨーロッパ人は大好き)  
<http://www.franceplusplus.com/2013/03/ethnic-joke/> を意識しました。

ブルーの馬を見つけてきたら  
莫大な賞金が出ると言われて、

【イギリス人】青い馬がいそうな所  
に行くため、探検靴を履く。



【ドイツ人】本当にいるのか博物館や図書館へ行く。

【フランス人】ペンキ屋に行って青いペンキを買う。 

【スペイン人】賞金を貰ったことにして前祝い飲む。

【日本人】努力に努力を重ね品種改良のうえ、青い馬をつくらうとする 1970年代には日本ジョークはなかった) 

### ● 「ステレオタイプの国民性」に対する逆説 今回の参考: 各国の特質を研究した調査や論

I. 「グローバリズム以後」 Emmanuel Todd  
家族人類学(核家族、直系家族、共同体家族…の構造と人口統計で各国の特質を分析)

日本はドイツ、スウェーデンと同じグループ

### II. ISSP国際世論調査

(I. Social Science Program)

家族、余暇、労働、食べ物、人生…多くの行動・意識の  
国際調査。明大鈴木研の分析・紹介を利用

日仏国民性は世界的に見ると似ている。

III. 「多文化世界一違いを学び未来を探る」 Hofstede 他  
各国民の序列意識、個人・集団意識、男女らしさ…の  
行動、価値観を調査、その相関・重なり合いを分析。

ステレオタイプとは違う意外な結論。



### III-1. 家族文化：「国民性(地域文化の基本は家族)」という説：E. Todd「世界の多様性」、「グローバリズム以後」から図解・編集

ソ連の崩壊、Brexit、トランプ政権を予測したと言われるフランス歴史人類学者による意外な相違・類似点（日本はどの国と似ている？）  
各地域の家族システムには「活力と病因」が同居し、イデオロギー（民主主義の違い）に繋がっているという考え方を、永年調査で結論。

#### ●Todd「世界の多様性」で検討された家族構造の地域分類

1. 絶対核家族 (la famille nucléaire absolue-8%/世界人口比)  
子供は独立後、無縁傾向。親子は独立的、兄弟平等に無関心。  
個人主義、自由経済を好む。移動性が高い。(自由市場経済傾向)



アングロサクソン、原始系分散部族  
地図上●

2. 平等型核家族 (la famille nucléaire égalitaire-11%)  
子供は成人後独立。兄弟は平等。遺産は兄弟均等分配。基本価値は自由・平等。女性地位やや低い。(人種に寛容、不平等抵抗)

フランス中央部、新旧ラテン地域、ポロランド 地図上●



3. 直系家族 (la famille souche-8%) 子供の内長男は親元に残る。  
親は子に対し権威的であり、兄弟は不平等。基本的価値は権威と不平等である。子供の教育に熱心。女性の地位は比較的高い。秩序・安定好み、政権交代少。高社会効率(自民族中心・集団主義)

日・韓、独・スウェーデン、仏周縁・西・スコットランド、イスラエル等 地図上●



4. 外婚制共同体家族 (la famille communautaire exogame-41%)  
息子はすべて親元に残り、大家族を作る。親は子に対し権威的、兄弟は平等。いとこ婚は禁止。基本的価値は権威と平等が混交。共産主義との親和性が高い。(コミュニズムに合う)



スラブ・中・越・蒙・フィンランド

5. 内婚制共同体家族 (la famille communautaire endogame-10%)  
息子はすべて親元に残り、大家族を作る。親の権威は形式的、兄弟は平等。子供の教育には熱心ではない。女性の地位は低い。  
(イスラム教と直結。均質性大だが宗教重視で国家の連携困難)



中東イスラム諸国・中央アジア

6. 家族不安定・複数婚グループ (le système des familiaux africains-6%)  
多妻婚が $\approx 1/3$ 。母子家庭の集まりに近く、父不在ケースあり。

識字率は女性がより高い。軍事政権多発。アフリカ中南部

7. アノミ-(不規則)家族：個人・共同体混交 -8%

南アジア、マダガスカル、南米インディオ

8. 非対称共同体：外婚+内婚(異性子の子同士婚)-7% インド南部

●現代グローバル以降(地域が重要な時代)に  
日本の重要問題は人口動態というTodd  
の見る世界地図(日本は極西にある)

●〈日本人は独自文化をもち、世界との共生は慎重にすべき〉という強調でなく、  
〈世界の多様性に対応しながら共生を考える〉  
という視点に注目しました。



注:国旗・国名はその家族系が支配的な国の分類。要約・図解石川

# III-2:国民文化 国民性の常識は怪しい！国際世論調査で解る落とし穴。(特に下表●印)

## ISSP国際世論調査2005-16(明大鈴木研まとめ)から (膨大な調査の抜粋・編集)

| 国民平均の統計 |    |      | OECD諸国内の順位 |      |  |
|---------|----|------|------------|------|--|
| 調査年     | 日本 | フランス | 日本         | フランス |  |

OECD:EU28か国+日本、USA、AUS、NEZ、CHI、CAD、COR、MEX

### 人口・家族

|             |      |       |   |      |
|-------------|------|-------|---|------|
| 人口増減(年率)    | 2016 | -0.1% | < | 0.4% |
| 14歳以下人口割合   | 2015 | 13%   | < | 19%  |
| 65歳以上人口割合   | 2015 | 26%   | > | 19%  |
| ●伴侶のいる率/人口  | 2011 | 66%   | > | 60%  |
| ●相対離婚率/婚姻人口 | 2011 | 36%   | < | 55%  |

|      |     |     |
|------|-----|-----|
| 34か国 | 29位 | 22位 |
| 34か国 | 29位 | 10位 |
| 34か国 | 1位  | 8位  |
| 34か国 | 3位  | 20位 |
| 34か国 | 23位 | 7位  |

コメント(◆字は日本その他、◆字はフランス)

フランス出生率はイタリ、メキシ、トルコに次ぐ。移民増=人口増の国が多い。

●子育て世代支援政策がほぼ50年継続した結果。

高齢者医療が進み、多くが働く日本。余生楽しむフランス老人。

●フランスでは同棲やPACS(契約結婚)が多い。\*1

●離婚が多くても男女が一緒に暮らしているフランス。:1

### 健康・医療

|                                 |       |       |   |       |
|---------------------------------|-------|-------|---|-------|
| 身長-男性(cm)                       | 01~07 | 172cm | < | 176cm |
| 肥満-男性(BMI30以上)                  | 2010  | 1.7%  | < | 8.3%  |
| ●食事時間(分/日)                      | 2011  | 1.8h  | < | 2.2h  |
| 睡眠時間(分/日)                       | 2011  | 7.7h  | < | 8.5h  |
| 日常喫煙者/全人口                       | 2011  | 24%   | < | 25%   |
| ●自己の健康状態意識: 良い                  | 2012  | 36%   | < | 79%   |
| ●健康上仕事・家事が苦/最近1か月               | 2011  | 43%   | > | 34%   |
| 体に痛み感じた/ 最近1か月                  | 2011  | 56%   |   | 56%   |
| 不幸・落込み感じた/最近2か月                 | 2011  | 34%   | < | 36%   |
| 医者/人口1万人                        | 2006  | 0.21% | < | 0.34% |
| 看護師/人口1万人                       | 2006  | 0.40% | < | 0.85% |
| ●医師を信頼する人の割合                    | 2011  | 62%   | < | 78%   |
| 全種がんの発症件数/10万人                  | 2008  | 0.20% | < | 0.30% |
| ●高所得者がよりよい医療サービスを受けられるのは間違いという人 | 2009  | 46%   | < | 84%   |

|      |     |     |
|------|-----|-----|
| 26か国 | 23位 | 19位 |
| 34か国 | 34位 | 33位 |
| 24か国 | 6位  | 1位  |
| 25か国 | 23位 | 7位  |
| 30か国 | 13位 | 12位 |
| 25か国 | 25位 | 8位  |
| 22か国 | 1位  | 12位 |
| 22か国 | 9位  | 8位  |
| 22か国 | 13位 | 9位  |
| 34か国 | 30位 | 14位 |
| 34か国 | 31位 | 17位 |
| 22か国 | 18位 | 7位  |
| 34か国 | 30位 | 6位  |
| 27か国 | 25位 | 1位  |

フランス・北欧は182cm、フランスは日本とは変わらず。食事時間は長いのに?

フランスはやせ形(ワイルド・チーフ)説 ゆっくり食べたら太らない \*2

英米系の食事は短い。住み家は1時間以下。デカの早食い!?

アメリカは日本より1時間多く寝る-8.7時間。寝る子は育つ!

2020日本は禁煙国1位に? トルコ 34%.....メキシコ 13%?

●心配性の日本人?それとも完全主義? フランス人は楽観主義か。

●上記と矛盾。怠け者フランス人の言い訳?

フランス: 外国人の急病者に出張診療のケースがある。

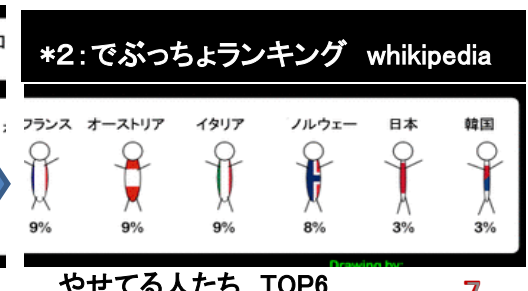
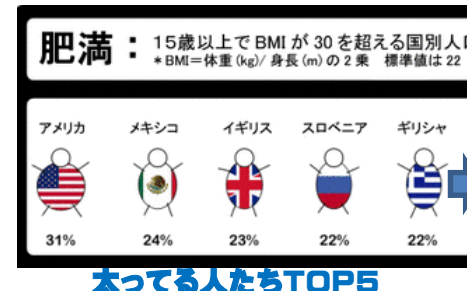
自宅療養者に看護師の訪問診療サービスがある。日本少ない

●医師説明・患者合意(IC)が徹底している。

2008年時点で日本は胃がん、欧米は前立腺がんが死因トップ。

●医療費事後払戻し制度:フランス国民は不満。(マクロン改革?)

上記コメントをもう少し深掘りすれば



### III-2a: 国民性の意識調査は生活行動と一致するとは限らない。ISSP国際世論調査2005-16から編集

| 生活・余暇（行動）        | 調査年  | 国民平均の統計 |   |       | OECD諸国内の順位 |     |      |
|------------------|------|---------|---|-------|------------|-----|------|
|                  |      | 日本      |   | フランス  | 日本         |     | フランス |
| 余暇活動時間/日         | 2011 | 3.9h    | < | 4.9h  | 26カ国       | 25位 | 15位  |
| テレビ等で過ごす時間       | 2011 | 2.1h    | > | 1.9h  | 26カ国       | 10位 | 17位  |
| 毎日、余暇に読書をする      | 2007 | 12.5%   | < | 26.2% | 26カ国       | 18位 | 5位   |
| 毎日、余暇に音楽を聴く      | 2007 | 27.8%   | < | 44.9% | 23カ国       | 23位 | 19位  |
| コンサート・展覧会等に月数回行く | 2007 | 7.8%    | < | 12.3% | 23カ国       | 18位 | 10位  |
| 映画に月数回行く         | 2007 | 5.3%    | < | 10.9% | 23カ国       | 20位 | 7位   |
| 運動(スポーツ・散歩)月数回する | 2007 | 34.8%   | < | 48.1% | 23カ国       | 18位 | 13位  |

OECD: EU28カ国+日本、USA、AUS、NEZ、CHI、CAD、COR、MEX

コメント(◆字は日本その他、◆字はフランス)

家事に時間取るのが意外と少ない。女性の余暇時間に日仏の差はない。食事はテレビを見ないフランス人。

朝、ラジオで音楽を聴くフランス人。

各地でアート・サーカスが盛んで常設館も多い。\*1 コンサート好きでも? \*3 テレビ局の収益一部が映画振興にまわされている。

子供の運動時間は日本多いはず。

| 価値観・人生（意識）      | 調査年  | 国民平均の統計 |   |       | OECD諸国内の順位 |     |      |
|-----------------|------|---------|---|-------|------------|-----|------|
|                 |      | 日本      |   | フランス  | 日本         |     | フランス |
| 人生の満足度(10段階)    | 2016 | 6.0     | < | 6.5   | 34カ国       | 27位 | 22位  |
| 自殺(全世代/10万人)    | 2012 | 23人     | > | 16人   | 26カ国       | 3位  | 9位   |
| 自分の重要属性は職業と思う   | 2003 | 22.5%   | > | 14.4% | 26カ国       | 5位  | 18位  |
| ◆自分の重要属性は性別と思う  | 2003 | 11.6%   | < | 20.2% | 26カ国       | 10位 | 3位   |
| ◆自分は仕事を徹底的にやる性格 | 2005 | 67.6%   | < | 96.2% | 14カ国       | 14位 | 4位   |
| ◆自分は怠けがちな性格     | 2005 | 15.8%   | > | 6.3%  | 14カ国       | 2位  | 13位  |
| たいていの人は信用できる    | 2009 | 33.2%   | > | 19.6% | 25カ国       | 9位  | 25位  |
| 助けてくれる親類友人がいる   | 2012 | 90.8%   | < | 93.5% | 34カ国       | 24位 | 15位  |

14以下、70歳以上の自殺率はフランスが多い。日本では労働との関係か!?

●他の属性(国籍、人種、年齢、宗教、地位)より性別に意識が強いのは以外!

●通念上フランス人の仕事徹底は疑問。労働時間の生産性はフランス大。

●まだ仕事したりない日本人!? 怠け者のデモをするフランス人?\*2

財布を落としても返ってくる日本。外国で騙される日本人

「他人は信用しないが、身内は大切」はラテン系の傾向か!?

| 国民意識（通念のイメージとは違うか?） | 調査年  | 国民平均の統計 |   |      | OECD諸国内の順位 |     |      |
|---------------------|------|---------|---|------|------------|-----|------|
|                     |      | 日本      |   | フランス | 日本         |     | フランス |
| ●自国は他より良いと思う人の割合    | 2013 | 86%     | > | 37%  | 24カ国       | 1位  | 19位  |
| 自国への誇りを感じる人の割合      | 2013 | 92%     | > | 89%  | 24カ国       | 6位  | 12位  |
| 自国の歴史を誇りに思う人の割合     | 2013 | 71%     | < | 91%  | 24カ国       | 21位 | 5位   |
| 自国が間違っても支持する人の割合    | 2013 | 18%     | < | 34%  | 24カ国       | 20位 | 15位  |

●中華思想というが? ●自民族中心主義はTodd家族構造調査からも明確

●どの国も似たもの ●プライドは当たり前だが、フランスより大きい?

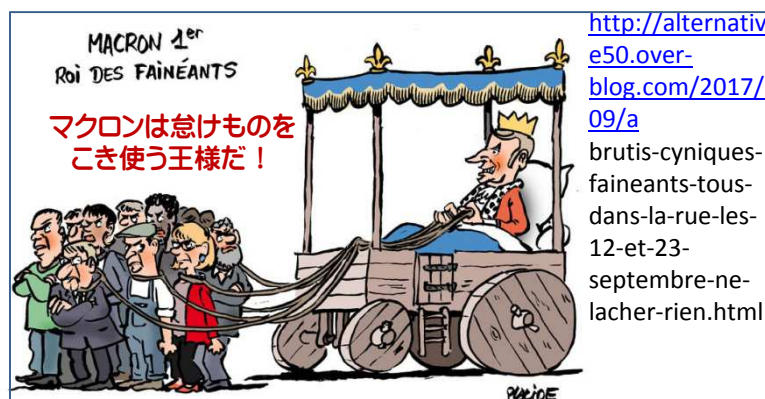
●革命・文化芸術... ●古来からの歴史と近い過去の歴史/相殺! 独も同様

●フランス・ファーストと言わない? ●謙虚・公正と言っていい日本の美德?

\*1: 冬のサーカス館  
(パリの人気常設館)



\*2: 大統領に抗議し「怠け者デモ」を呼びかけるサイト



\*3: 民族性ジョークで見る「日本人とフランス人」  
<http://www.franceplusplus.com/2013/03/ethnic-joke/>

世界的な音楽コンクールにおいて  
開始1時間前に[ドイツ人]と[日本人]が来る。

30分前、[ユダヤ人]がやって来る。

10分前、[アングロサクソン]が現れる。

開始時刻丁度に[スラフ系]が間に合う。

5分遅刻して、[フランス人]がすべいこむ。

15分遅く[イタリア人]が出現。

30分以上たって[スペイン人]がようやく現れる。

[ポルトガル人]がいつ来るのか誰も知らない。

〈時間感覚〉よりも〈芸術に対する気楽さ〉



III-2b: 国民文化 : 食生活は世界の中では、日仏は似たような位置、  
 教育は 「平等ではあるがある程度の序列社会を認める」フランスと  
 「みな同じ教育を求める」日本の違いが見える。 ISSP国際世論調査2005-16(明大鈴木研)から編集

| 国民平均の統計                        |      |       |         | OECD諸国内の順位 |     |      | OECD: EU28カ国+日本、USA、AUS、NEZ、CHI、CAD、COR、MEX      |  |
|--------------------------------|------|-------|---------|------------|-----|------|--------------------------------------------------|--|
| 調査年                            | 日本   |       | フランス    |            | 日本  | フランス |                                                  |  |
| 食べ物                            |      |       |         |            |     |      |                                                  |  |
| 食料自給率(カロリーベース)                 | 2013 | 39%   | 127%    | 14カ国       | 14位 | 4位   | コメント(◆字は日本その他、◆字はフランス)<br>地続きのEUで流通が大きく、他国食料も多い。 |  |
| 野菜の消費量(kg/人・年)                 | 2013 | 103kg | 97kg    | 34カ国       | 19位 | 20位  |                                                  |  |
| 肉類の消費量(kg/人・年)                 | 2013 | 49kg  | 87kg    | 34カ国       | 33位 | 12位  |                                                  |  |
| 魚・海産物の消費量(kg/人・年)              | 2013 | 49kg  | 33kg    | 34カ国       | 5位  | 9位   | 魚の消費が増えているフランス。海洋国日本もウナギが食べない！                   |  |
| なるべく無農薬野菜・果物摂る                 | 2013 | 47.4% | < 49.0% | 23カ国       | 6位  | 4位   | 健康志向は同様である。日本食ブーム。*1                             |  |
| 教育                             |      |       |         |            |     |      |                                                  |  |
| 教育への公的支出(/GDP比)                | 2014 | 4%    | 6%      | 34カ国       | 31位 | 14位  | 「分に応じた教育の公平」は、国民性と制度が一致している。                     |  |
| 高所得者がより良い子供教育を受けさせられるのは不公平と考える | 2011 | 36%   | 71%     | 22カ国       | 22位 | 4位   | 教育にお金がかかる国なのに？ 子育てや教育ただの国なのに！                    |  |
| ●教育制度を信頼している                   | 2011 | 61%   | 81%     | 22カ国       | 21位 | 7位   | ●学校教育には期待をかけすぎえていない。日本人は塾に通わせる。                  |  |
| 3歳未満児の保育施設入所率                  | 2005 | 15%   | 28%     | 27カ国       | 17位 | 10位  | 保育施設だけでなく、他人の子を預かる制度が普及している。*2                   |  |
| ●高校1年までに留年経験                   | 2009 | 0%    | 37%     | 34カ国       | 32位 | 1位   | ●早く進路を決めて、大学に行かないのも人生。                           |  |
| ●高1で教科書暗記を試みる割合                | 2009 | 18%   | 48%     | 34カ国       | 34位 | 19位  | ●きちんと話せる人が優秀な人？世界の学力テストではほんトツフ。                  |  |
| 25-34歳代での大・専門学卒業割合             | 2010 | 57%   | 42%     | 34カ国       | 2位  | 12位  | E.トッドが日本は「極西」(超先進国だが問題)と言っている所以。                 |  |



\*1:日本食や「ヘルシー」大流行。「スリム」は価値観！?



\*2:母親が安心して働けるシステム:家庭委託保育

国際世論調査のまとめ

- ISSP調査は50か国の団体(日本はNHK)の調査をドイツ研究機関でまとめ、各国で利用されています。
- 平均値なのであてにすぎない程度で参考に！ フランス人に限らず会った外国人に質問して比べて下さい。

アジアの異端児・日本。集団性も権力格差も中位の国民性。  
(邦訳) 組織人類学者木下トヲ著「多文化世界」から編集

